



寺 101
清 102663
小川 158

御彼岸

新年号で、案内の通り、休憩所・東屋・造成工事が完成致しました。その後、都道から宝清寺への正面入り口に、寺標が建てられました。「客殿」完成後は、当山への墓参や葬儀等の為に客殿を利用される方々の主たる入り口になる事も考え合わせ建設を計画、一月末日に完成致しました。

「水谷山宝清寺」の揮毫は、郷土書家の田野倉周之先生にお願い致しました。当山住職として、宝清寺を素朴で親しみやすく、清潔で気持ちよく墓参ができる環境にしたいとの考えに、ピツタリの書風に満足しております。そこで、休憩所の看板の文字も田野倉先生に書いて戴きました。ご来寺の際、ご覧戴ければ幸いです。

住所 東京都あきる野市小川一〇一
電話 〇四二一五五八一・二六六三
Fax 〇四二一五五八一・二六九三
住職 石井 前田邦
寺務所 伊藤 勝之
所長

又、寺標の裏に湧き水の池がありますが、その場所、地元の方から譲り受けた水車を設置致しました。施工はお檀家の克谷土建にお願いし完成しました。その水車は湧き水の落水で一年中回り、楽しい雰囲気を作り出してくれるものと思います。

十二回にわたり「仏教ゆかりの食物」について紹介してきました。今回から数回にわたり「香り」について紹介いたします。その第一回目として「香りと日本人」についてお話しします。香りに対して日本人は敏感ですが、欧米の人々も香りには敏感です。織田信長が京都にのぼりつめ天皇陛下に拝謁し天下人になりました。信長は正倉院におもむき正倉院の扉を開けるよう求めました。すると「天皇の許可がなければ開けることが出来ません」といわれてしまいました。信長は京都皇の許可状を持へもどつて欲望をはたしたという話は有名です。その時の信長の目当ては、世界第一級の香木にあつたそうです。正倉院の蘭香待(らんじやたい)には三つの切り取つたあとがあるといわれています。それぞれ名前があり、足利義将、織田信長、明治天皇です。第一級の香りこそが天下人のシンボルだったのでしよう。

平成十年度より管理料改定

平成十年度より管理料を改定させていただきます。従来より管理料を平成三年四月より管理料として毎年お納め戴くよう変更し、今日に至つております。石材店が数社関係してきたこともあつて旧檀家も含めると管理料の金額がまちまちで、寺務処理上も大変煩雑になつております。以前発行の「たちばな」でも予告お知らせの通り、平成十年度より管理料を一万二千元に統一させていただきます。役員会の賛同も得ております。管理料は境内整備や施設の充実等、皆様に還元できるように使わせて戴いております。

住持普賢寺可付

先般、お願いしました任意の寄付は、合計で一十九百五拾三万円になりました。寄付はご案内の参道工事に使いました。寄付は客殿完成まで受け付けておりますので、宜しくお願い致します。

二、立教開宗・布教・法難

故郷に帰つた日蓮聖人は、清澄山で「南無妙法蓮華経」と唱えて立教開宗を宣言、お題目を唱える日々を過ごさす。しかし、日蓮聖人の教えに耳をかす人は少なくなつた。やむなく日蓮聖人は下総の国を旅し鎌倉へ向かつた。鎌倉では勢力的に布教を開始。日蓮聖人は「立正安国論」を著し、念仏批判を展開。「法華経」の優位性を説いた。しかし、逆に反発をかい、松葉ヶ谷の草庵は焼き払われてしまった。一時下総の国に逃れた。捨見の覚悟で鎌倉にもどつた。聖人は捕らえられ、伊豆国

檀家等の数が大変多くなつて参りました。当山としては、皆様に不便や迷惑の掛からないよう又、気持ち良く墓参戴けるよう努力しておりますが、次の事項に該当される場合ご協力をお願い致します。

- ①、住まいが変わられた場合の住所変更の届はお早めにお願致します。
- ②、法事をされる場合のお寺への相談は決まり次第早めにお願致します。
- ③、お塔婆のお申込はなるべく指定の葉書やFAXをご利用下さい。
- ④、ご不幸があつた場合、日程を決める前に先ずお寺にご連絡下さい。
- ⑤、生花には春秋の両彼岸とお盆の年三回はお寺で用意があります。その期間はなるべくお寺のものをご利用下さい。新年や日曜を含めた日常の墓参の折の生花はそれぞれ用意の上ご来寺下さい。